

8

2025

vol.528

ひろがれ！じんけんネットワーク

人権啓発紙

隣保館だより

ホームページURL
<https://www.city.miki.lg.jp/site/sou-gourinpokan/>



8月は人権尊重のまちづくり推進強調月間です



全国各地のユネスコ協会が実施している「平和の鐘を鳴らそう」運動。三木市ユネスコ協会でも毎年夏に会員と小・中・高校生の代表、一般市民に呼びかけ、市内各所で「平和の鐘」を鳴らしてきました。写真は令和5年7月27日の活動の様子。
(三木市上の丸町 雲龍寺鐘楼前で撮影)

【次ページ】

■「人権の小窓」 みんなで平和の鐘を鳴らそう 三木市ユネスコ協会

【裏面】

■ 8月隣保館カレンダー

■ 8/16(土)「市民じんけんの集い」のお知らせ

■ 10/4(土)隣保館フィールドワーク(北淡震災記念公園)参加者募集

人権の小窓 (279)

みんなで平和の鐘を鳴らそう



三木市ユネスコ協会

三木市ユネスコ協会の取組

三木市ユネスコ協会は、2024年7月25日、志染小学校を会場に「平和の鐘を鳴らそう」というキャンペーンを行いました。この活動は、2003年の協会設立当初から毎年夏に実施しており、過去には吉川総合公園、三木市文化会館、中央公民館、雲龍寺、自由が丘公民館等市内各所で開催してきました。私たち三木市ユネスコ協会の大切なイベントの一つです。

この日も平和を願う市内小・中・高校生の児童・生徒をはじめ一般市民も含む約100名が体育館に集まりました。

最初に参加者全員でユネスコの歌「手に手をとって」を斉唱し、続いて参加児童・生徒の代表がユネスコ憲章前文を朗読しました。ユネスコ憲章の中には、

「この機関の目的は国際連合憲章が世界の諸人民に対して人種、性、言語又は宗教の差別なく確認している正義、法の支配、人権及び基本的自由に対する普遍的な尊重を助長するために教育、科学及び文化を通じて諸国の間の協力を促進することによって、平和及び安全に貢献することである。」

という一文があります。端的に言えば、人権の尊重こそが平和を築くことにつながるということです。すこし難解な文句ですが若い感性を持つ児童生徒の朗読は澆漑（はつらつ）と、そして爽やかに平和の大切さを訴えました。

次に、小中高生数名が平和についてそれぞれの思いを発表しました。

- 「相手のことを知ることから始める」
- 「学校に通ってお腹いっぱい食べられる毎日に感謝」
- 「杉原千畝のリトアニアでの命のビザ発給を知る」
- 「家族と笑顔大切に」

など、平和についての思いの詰まった発表となりました。



平和についての意見発表

第2部のピースコンサートでは、3人のアンサンブルユニットmusica legame(ムジカ レガーム)が「ゆりかご」「アメイジンググレース」など平和にちなんだ曲を演奏しました。透き通った歌声が、ピアノ、ヴァイオリンの音色と相まって、暑い体育館の中に爽やかな風を運んできたかのような感じでした。

最後にグラウンドに移動し、今も戦火や貧困に苦しむ人々に思いを馳せ、世界の平和を願って志染小学校屋上のカリヨンを見上げ、鐘の音を聞きながら全員で黙祷しました。

ユネスコとは



ユネスコ(UNESCO、United Nations Educational, Scientific and Cultural Organization (国際連合教育科学文化機関)は、第2次世界大戦後の1945年に設立

された国連の専門機関で、教育・科学・文化を通じて世界の平和と人類の福祉を促進することを目的としています。

本部はフランス・パリにあります。ユネスコは識字教育や科学研究の支援、文化遺産の保護など多岐にわたる活動を行っています。特に有名なのは「世界遺産」の登録制度で、歴史的建造物や自然環境など、人類共通の貴重な遺産を保護するための枠組みを提供しています。言語や文化の多様性の尊重、また近年は持続可能な開発目標 (SDGs) への貢献も重視されています。



参加者代表によるユネスコ憲章の朗読

Peace and Love



第2部 ムジカレガームによるピースコンサート



2024年7月25日、志染小学校屋上のカリヨンが響く中、平和を願って黙祷する参加者



日本ユネスコ協会の「平和の鐘を鳴らそう」運動

この「平和の鐘を鳴らそう」運動はどのようにして生まれたのでしょうか。それは1954年、日本の元国連職員中川千代治氏が、世界の平和を願って日本国内外から集めた硬貨やメダルを溶かして「世界の子どもたちに平和な未来を」という願いを込めて鐘を鋳造したのが始まりでした。その鐘はニューヨークの国連本部に寄贈され、庭園に設置されました。それ以来、この「平和の鐘」は、国際平和デー（9月21日）をはじめ重要な国連行事の際に鳴らされ、世界中の人々に平和のメッセージを届けているのです。



国連本部にある平和の鐘（ウィキペディアより）



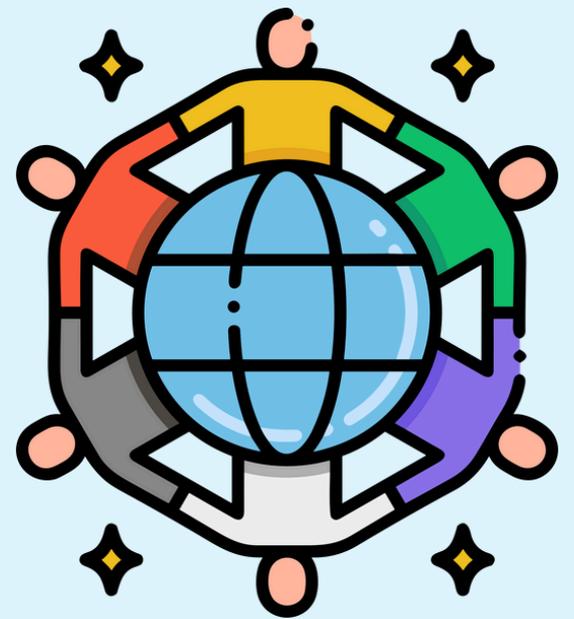
鐘を鳴らす高校生の参加者
2023年 雲龍寺で

この理念を受け継ぎ、日本各地のユネスコ協会では「ユネスコ平和の鐘を鳴らそう」運動が広がりました。一般市民をはじめ、児童・生徒による平和についての意見発表や、平和への願いを込めて鐘を鳴らすイベントを中心にして、合唱・演奏・鑑賞、平和に関するワークショップなども開催されています。さらに、この活動はユネスコスクール（ユネスコの理念を学校現場で実践するための国際的なネットワーク）が参加の中心になっており、学校同士が国際的なネットワークを持って平和教育を共有しています。近隣では三木北高校がユネスコスクールに加盟して平和への取組を展開しています。

「平和の鐘を鳴らそう」運動は日本発の草の根市民運動

毎年夏に各地で様々な平和を願う集いが開催されています。私たち三木市ユネスコ協会の「平和の鐘を鳴らそう」運動もその一つで、誰でも気軽に参加できる平和を願う実践行動です。

この日本発の市民による平和への取組は、草の根から平和の意識を育てる重要な役割を持っています。さらに、子どもたちの心に平和の種をまき、次世代へとその願いをつないでいくこの活動は、国際的にも大きな意義を持つと言えます。国連憲章の中に「**戦争は人の心の中で生まれるものであるから、人の心の中に平和の砦を築かなければならない**」とあります。「ユネスコ憲章を朗読する」「平和への思いを発表する」「鐘を鳴らして平和を祈る」という行動が心の中に平和の砦を築いていくのです。これからも多くの皆さんにこの運動に参加していただき、みんなで世界平和の実現を願いましょう。



令和7年
2025年

8月

隣保館カレンダー

AUGUST

日	月	火	水	木	金	土
					1 経営・職業相談 10:00～ 人権相談(緑が丘町 公民館) 13:00～	2
3	4	5 経営・職業相談 10:00～	6 広島平和記念日	7	8 経営・職業相談 10:00～	9 ながさき平和の日 世界の先住民の国際 デー
10	11 山の日	12 経営・職業相談 10:00～ 国際青少年デー	13	14 人権相談(吉川支所) 13:00～	15 経営・職業相談 10:00～ 戦没者を追悼し、平和 を祈念する日	16 市民じんけんの集い 書を楽しむきらきら教室 13:00～
17	18	19 経営・職業相談 10:00～	20	21 人権相談(三木市役所) 13:00～	22 経営・職業相談 10:00～	23 奴隷貿易とその廃止 を記念する国際デー
24	25 エアロビクス講座 14:30～	26 経営・職業相談 10:00～	27	28	29 経営・職業相談 10:00～	30 茶道教室 9:00～
31						

市民
じんけんの集い
8月16日(土)
三木市文化会館大ホール

入場
無料!

第1部 13:15～
★オープニングセレモニー
演奏 三木高校吹奏楽部
★差別をなくする輪をひろげ
よう市民運動受賞者表彰
人権作文優秀賞作品の朗読



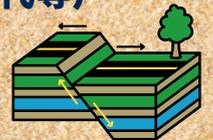
TV「サンデーモーニング」
コメンテーターとして出演中

第2部 14:30～
★講演
「紛争地、被災地に生きる人々の声
～取材から見てきたこと～」
★講師
フォトジャーナリスト
安田 菜津紀さん

バリアフリー映画会 14:00開場 14:30～16:15
ディズニーアニメ「インサイドヘッド」 小ホールで同時開催

総合隣保館視察研修の参加募集

- ★ 開催日 令和7年10月4日(土)
- ★ 時間 集合 8時45分
- ★ 集合・解散 三木市役所北側玄関前
- ★ 研修先 北淡震災記念公園 ほか
- ★ 会費 3,000円(昼食代・保険代等)
- ★ 定員 20名



コース(予定)
9:00 出発
10:00 北淡震災記念公園
語り部さんによるお話
12:00 お食事「物産館」
13:00 県立公園あわじ花さじき
15:30 帰着予定



食物アレルギーがある方は申込時にお申し出ください。
申し込み・問い合わせ先 三木市立総合隣保館(担当: 福寄・大坪)
申込期限 9月16日(火) TEL 0794-82-8388 FAX0794-82-8658